

祈りの奥義——世界は平和になるの信念で世界平和の祈り

2010年9月19日 於：神奈川集会

祈りの奥義——想念波動転換原理

【楽しい夢を見るには？】

夢については皆さんもご存じのことと思いますが、潜在意識にある業想念が表面の行動に現れないように、が夢の中で戯画化して業想念を消滅して下さっているのです。人間が一度発した想念は善悪に関わらず、いつかは回り回って自己の運命として還ってくるのですが、人間は善いことを思うよりも悪いことを思う方が多いのですから、思ったことのすべてが現実になっていたら、たちまち人間の世界は野獣と同じ争いの世界と化し、人類は滅亡してしまいます。そこでは、人類に悪い運命が現れないように、悪い想念を幽界において夢として消して下さっているのです。

それは、業想念は形となって現れれば消えるのが法則だからです。幽界において悪夢として業想念が現れますと、その分だけ悪い事柄は消えたことになり、現実の肉体界には現れなくなるのです。悪い夢は悪い夢であって、よいわけがありませんが、夢となって悪い事柄が消えたことがよいわけです。過去世からの想念波動と、肉体頭脳に今日まで体験として残っている想念波動を、霊魂が眠っている間にが幽体に描き出して消滅させている現象を夢というわけで、このように守護霊様は、被守護体の運命をよくしよう、肉体界に悪い出来事が現れないようにと、幽界において夢として悪い想いを果たさせてしまい、未然に防いで下さっているのです。

また、夢として現れた出来事は、同じような戯画化されたものであっても、実はその内容はその時々において異なった想念を組み合わせたものであり、同じ夢を毎晩見たとしても、その内容は別々の業想念が同じ形の夢として現れて消えてゆくのです。なお、夢を見ても、たいていの場合は目覚めると直ぐに忘れてしまうものですが、「こんな夢を見た」と夢のストーリーを覚えている場合があります。その場合は、その夢を思い出したことによって再びその想いが潜在意識に入ってしまうのかというと、その夢の思い出は潜在意識には入りませんから、心配はいりません。

ただ、守護霊の力をもってしても、幽界の世界で業想念を消し得ない場合、大勢の祈りの力や霊性のすぐれた人の祈りの力で、その不幸を軽くしようとして予知的に悪夢を見せる場合もありますが、今日までは、そうした予知を受けても、その不幸を軽くし得るような祈りの方法がゆきわたっていなかったため、予知がそのまま予知通りに現れることが多かったのです。しかし、今まででも、夢の予知を受けて災害を未然に防ぎ得た人もいくらかはいたのです。

もっとも皆さんのように「世界平和の祈り」をなさっている方々は、どんな予知的な夢を見ようと、どんな悪夢を見ようと、その夢の内容ごと、「消えてゆく姿」と思って「世

界平和の祈り」の中に入れてしまいさえすれば、悪い予知も悪い夢の出来事も実現せずすむことになるのです。善念波動のうちでも「世界平和の祈り」はもっとも神様のみ心にかなった光明波動なのですから、「世界平和の祈り」を祈っていさえすれば、いつしか悪夢は消え去ってゆき、悪い出来事が現実の一つも起こらなくなってきた、明るく楽しい人生が開けてくるのです。

さて、「世界平和の祈り」をすでに知っていて、「お祈りの中に入れる」ということも知識としては知っているものの、現実には「嫌な想いが全然消えない」ように感じている、そういう人もいるでしょう。そこで、五井先生から直伝で授けられた黄金の秘法を、これを読んでいる皆さんにこっそり教えてあげましょう。

五井先生から直伝された黄金の秘法とは、「お願いします」という祈り言です。この一言で私は直観的にすべてを悟り、五井先生の教義のすべてを理解できるようになり、それ以来、神のみ言葉が泉の湧き出るがごとく、すらすらと出てくるようになったのです。皆さんの場合も、これを応用して、寝る前に「、楽しい夢を見させて下さい。よろしくお願いします」と、守護霊様をお願いするとよいのです。「お願いします。お願いします…」とお祈りしますと、守護霊様の浄めの光明がその人に伝わりやすくなって、その人の業想念を消しやすくなりますから、嫌な夢を見る回数もだんだんと減ってきて、楽しい夢ばかり見るようになってくるのです。

【祈りのコツをしっかり掴もう！】

私はかつてこんな不思議な体験をしたことがあります。

五井先生は「『ありがとうございます』の一言のお祈りで私は悟った」とよくおっしゃっていました。それで、私は五井先生の真似をして、朝から夜まで毎日「ありがとうございます。ありがとうございます…」と繰り返し唱えていたのです。それを数年間続けたのですけれど、いつまでたっても五井先生のように悟れないのです。感謝の気持ちも少しも湧いてこないのです。「ありがとうございます」と、口先では感謝を唱えているのだけれど、形式的な行になってしまって、心の底から感謝の気持ちが湧いてはこないんですね。それで私は、「ありがとうございます」の感謝行をやめてしまいました。

それからしばらくして、私は五井先生のお話の中に「お願いします」という言葉が頻繁に出て来るのを発見したのです。それで、「五井先生は、『お願い事と真実の祈りは違う』と説きながら、なあんだ、五井先生ご自身では『お願いします』と祈っていたんだ！」と、新しい発見をしたのです。それで私は、今度は「お願いします。お願いします…」と、この言葉ばかりを繰り返し唱える行を始めたのです。すると、数日経ってからだったか、不思議なことに、私の口が勝手にしゃべり始めたのです。私の意識とは関係なく、しゃべり始めたんです。不思議でしょう？ その時の私の口から自然に出てきた言葉とは、どんな言葉だったと思いますか？ その言葉は「ありがとうございます！」という言葉だったのです。

私はこの時、全身が震えるほど感動したものです。

「そうか！ そうだったのか！…」と、私はその時、神我一体になる簡単な秘訣をしつかりと掴んだのです。そして、この時の体験を私は「想念波動変換原理」と名付けて、後で教えるようになったのです。五井先生はこの原理を体験されていて、「想念の転換」とか「想念の変換」という教えを説いておられたのです。自分の意思力で自分の想念を変換するのではなくて、神のみ心の中で想念が自動的に変換されるのです。ですから、肉体人間としては、すべての想念を神のみ心の中にひたすら投入してゆけばよいのです。そうすると、感謝しようと思わなくても、感謝の祈りが自然に出てくるようになるのです。これが真実の感謝なのです。

それから、形式的な感謝行を一切やめて、「お願いします」と、への全託行だけを私は繰り返していたのです。すると、「ありがとうございます」という感謝の祈りが湧いてくるでしょう。そうしているうちに、気がついたら「お願いします」という言葉を唱える必要がなくなってしまって、「ありがとうございます」の言葉だけが口から出てくるようになったのです。つまり、五井先生と同じ心境になってしまったのです。その瞬間に私はすべてを悟ってしまったのです。

そうした体験から、私に教えを求めてくる人たちに、私は「お願いします」という祈り言を教えてあげるようになったのです。簡単だけど、この祈り言を続けてゆけば、誰でももちろん五井先生のように悟れるのです。そうすると、五井先生の教えがよく理解できてきて、「世界平和の祈り」の素晴らしさもよく判ってくるのです。

世界は平和になる信念で世界平和の祈り

【矛盾だらけの光明思想家】

ある光明思想家は、一方で「21世紀は本当に素晴らしい時代になる」「マイナスの言葉を使ってはいけない。思った通りになるからだ」と説きながら、他方で「大気汚染がひどくなり、日本でも空気を買う時代になって、皆、酸素ボンベを持って歩くようになる」などと説いているそうです。一方で「素晴らしい時代になる」と光明思想を説きながら、その一方で「日本でも大気汚染のひどい(悪い)時代になる」と暗黒思想を説いているのです。「マイナスの言葉を使ってはいけません」と信者に説きながら、ご自分は平気でマイナスの言葉を使っているわけです。その光明思想家自身が、自分の説いた教えを実行できないでいるのです。

このような光明思想家の話を真面目に聞いていると、聞いている人は、地球の未来は一体善くなるのか悪くなるのか、判然としなくなってしまう。このように、一部の光明思想家の教えは、はっきり申し上げて「矛盾だらけ」なのです。この手の光明思想家の話をまともに真剣に聞いていると、聞いている側の頭がおかしくなってしまうから、「ほとんど嘘だ」と思って、落語を聞いているようなつもりで軽く聞き流さねばなりません。そのような光明思想家の教えをまともに信じて聞いているのは駄目です。

【21世紀は素晴らしい時代になる】

さて、21世紀は正確には2001年から2100年の100年間を指しますが、その2001年になった途端、9.11世界同時多発テロが起こり、その後アメリカは対テロ戦争と称してアフガニスタンで、そしてイラクで戦争を起こしました。これを見ても分かるように、かつての自由主義思想と共産主義思想の対立や利己的な侵略戦争、人種差別による紛争、宗教宗派の対立による紛争などはまだ当分の間続くことになるでしょうが、しかし、これらの悪い現象は必ず消えてゆくのであり、「悪い現象が消えてゆくに従って必ず善くなってゆくのだ」という信念が必要です。「悪い現象がこのまま続くのではないか、消えないのではないか」と恐れてはなりません。また、戦争以外にも、気象異常による農作物の不作や大地震による家々の倒壊、エイズのような疫病の流行なども、現れては消えてゆくのであり、必ず平和になってゆくのだという信念を持たねばなりません。21世紀は地球人類を総合的に見た場合、現在よりもはるかに科学が進化した素晴らしい時代になってゆくものと思います。

今日までの20世紀の100年間で、地球人類は目覚ましい科学の発展を遂げ、インターネットや衛星放送テレビの電波が国境を超えましたが、パソコンとテレビの普及によって、世界の正しい情報が各国の大衆に瞬時にして平等に伝わるようになり、民主化が進み、政治指導者が情報封鎖をして独裁的に権力をふるうということが難しくなっています。いわば民衆の力が発揮される時代になるのです。

関心のない人は知らないと思いますが、日本の国の法律も、国会議員によって日々審議され、男女平等、人権尊重、労働雇用環境、育児、学校教育、生活環境、老人福祉、道路水道電気などの社会基盤整備などを改善するためのよりよい法律の成文化や改訂が着々と進められているのです。こうしたことを考えますと、日本の国民は科学力による恩恵と平和な生活を享受できる幸せな国民となることでしょう。なお、現在の日本における有事の想定については、北朝鮮が自暴自棄になって射程距離に入る韓国や日本にテポドンミサイルを無茶苦茶に発射しやしないかと軍事専門家は心配しておりますが、日本の政治家は非常に慎重に冷静に対処しており、神々も「日本は戦争をすることは絶対にない。日本の平和は絶対に守る」と約束して下さっているのです。あまりのんき過ぎて平和運動をやめては困りますが、日本は平和であることを信じて、出来る限りの人事を尽くしていればよろしいのです。

人類の運命は、これからもちょうどらせん階段のように、上ったかと思うと下がり、下がったかと思うと上がるという具合に、悪い出来事が起きては善くなり、善くなったかと思えばまたどこかで悪い出来事が起こるのですが、人類の運命は常に上昇し進化を続けているのです。どんなに悪い出来事が起こっても、「これは消えてゆく姿だ」と業想念を否定して守護の神霊の加護にすがり、「世界は必ず平和になるのだ」と信じて「世界平和の祈り」を祈り続けてゆく必要があるのです。

個人の運命にしても、不幸なことが起きたら、「ああ、これは消えてゆく姿だ。、一日も早く業想念をお消し下さい。運命が善くなるように私をお守りお導き下さい」と守護の神霊に祈るのです。そのように、悪い運命が現れるたびに守護の神霊に浄めていただい

いるうちに、個人の運命は次第に善くなってゆき、天命のままに幸福な人生を送れるようになってゆくのです。

そのためにも、「が必ず私の運命を善くして下さるに違いない。私の運命は必ず善くなるのだ」と希望を持って、「お願いします。世界人類が平和でありますように」と祈るのです。この生き方を五井先生は「業を消えてゆく姿と否定して世界平和の祈りを祈る」と説き、それをもっと短くして「消えてゆく姿で世界平和の祈り」という教えにまとめたのです。私の場合は、個人的に言えば「必ず善くなる信念で世界平和の祈り」と説き、人類的には「平和になる信念で世界平和の祈り」と説いているのです。そうした信念の持ち方によって、世界平和の祈りの効果も変化してくるのです。

五井先生は「業想念否定形」を用いていて、私は「本心肯定形」を用いておりますが、表現の違いだけで、どちらも同じ意味であるのです。「業想念否定形」と「本心肯定形」の両方の用い方を知ることによって、「世界平和の祈り」はより完全な光明力を発揮することになるのです。

なお、この現実世界は、実在しているわけではありませんが、存在していることは確かです。全人類が宗教的な境地である空を認識しますと、この現実世界から不完全な姿は消え去ります。しかし、現実世界、肉体世界が消滅することはありません。波動のゆるやかな肉体世界でありながら、しかも神界に近い調和した平和な世界になるのです。

【世界は平和になる信念で世界平和の祈り】

この肉体世界は、確かに現在は業想念の消えてゆく姿の世界ですが、未来は輝かしい本心が現れてくる姿の世界になるのです。本心が現れる前に業想念の消えてゆく姿があるわけです。今は、何が本心の現れで、何が業想念の現れかということは判りませんので、一度すべてを消えてゆく姿と観じるのですが、業想念が消えてゆきますと、今度は新たに本心の素晴らしい姿が次々に霊界から肉体界に映ってくるのです。すべてを一度は消えてゆく姿と観じますと、業想念は消えても、本心は永遠に実在していて消え去ることはないのですから、本心の現れだけが次第に強固な形になって現れてくるわけです。具体的にいえば、未来には地球人類を調和する科学力が現れてきて、地球は愛に満ちた楽園になるのです。

それでは、現実世界をどのように観想したらよいかと申しますと、「現実世界は、業想念が消えてゆくとともに本心が現れてくるのだ」と、空即是色の観想をするのがよいのです。もっとも、すでに高い心境にある人は、それだけでスーッと悟ってしまうのですが、しかし、普通の人はそう簡単に安心できません。

そこで、守護霊様にこう祈るのです。

「守護霊様、業想念を一日も早くお消し下さって、現実世界に本心を現しめたまえ」

このように祈っておりますと、「私たちの運命は必ず善くなる」「世界は必ず平和にな

る」という信念が自然に湧いてくるのです。そこで五井先生の「消えてゆく姿で世界平和の祈り」という教えを、私はより明るい言葉を用いて、「世界は平和になる信念で世界平和の祈り」と説いているのです。私は、五井先生の教えを忠実に再現しておりますが、これだけは、他のどこにもない私独自の新しい教えと言えます。

【五井先生の直説^{じきせつ}に帰れ——未来には、五井先生の真実の教えが明らかになる！】

昌美先生は「私は五井先生の世界平和の祈りよりも、さらに高い究極の方法、我即神也に到達したのだ」と自慢したことがありましたが、私は昌美先生に対してある時こんなお手紙を差し上げたことがあります。

「五井先生の教えよりも昌美先生の方がより高い、よりすぐれた究極の方法を発見したとおっしゃるならば、そして、五井先生の教えはもう古くて時代遅れだとおっしゃるならば、白光真宏会の教えは昌美先生の教えだけにして、五井先生の本をすべて焼き捨てたらどうでしょうか？」と。

私がそのような手紙を差し上げたら、昌美先生はさすがに「これはまずい」と反省されたのか、その後「五井先生の教えよりも私の教えは進んでいる」とは言わなくなって、「世界人類が平和でありますように、我即神也」と、二つを同等の位置に持ってきて、必ず併用して書かれるようになりました。

もちろん昌美先生の教えの方が五井先生の教えよりも高いわけがありません。

科学の進歩と同じように、宗教の世界においても、師の教えを土台にして、弟子がよりよい教えを開発してゆく必要はあります。それは喜ばしいことです。しかし、昌美先生の教えは、私から見ますと、どうも最上目に見ても、五井先生の教えよりも低く、生長の家の本から借用したものばかりと感ずるのです。進歩するどころか、五井先生のせつかくの高い教えを低めてしまったのです。神への冒瀆としか言いようがありません。

白光真宏会の古い幹部職員の中にも、私のように表立って昌美先生を批判することはしませんが、ひそかに私の主張に心から賛成している人がいまして、昌美先生のご命令にまるで羊のように従順に従いつつも、「五井先生の教えを何とか人々に知らせよう」と陰で懸命に努力している人たちが実は存在しているのです。白光誌には、昌美先生に言わせれば「古い時代遅れの五井先生の講話」を記述し直した文章が今も毎月連載されていますが、それも「五井先生の教えを埋もれさせまい」と願う人たちの一つの現れなのです。五井先生の講話集が今後も数多く出版されてゆくにつれて、誰が見ても、五井先生の教えと昌美先生の教えとの違いがはっきりと現れてきます。未来の人たちに私たちはそれを期待しているわけです。

ちなみに、直説（じきせつ）という言葉を知らない方のために、ここでちょっと説明しておきますと、直説とは仏教用語で、「仏が直接説くこと。仏が直接説いた教え」のことを言います。その意味で皆さんも五井先生の教えを直説として、五井先生の教えと昌美先

生の教えを同一の教えとして解釈しないで、五井先生の教えだけに専念して、五井先生の本だけを集中してお読みになることをお勧めします。

【参考1：私の願い】

私は昭和25年(1950年)3月17日生まれで、現在60歳です。皆さんは、私がこの世に生きている間に五井先生直伝の教えを私から吸収して、五井先生の教えを完全に理解して下さい。私自身は五井先生の教えを理解できるまでに20年間もかかってしまいましたが、私から学べば、皆さんは3年間くらいで五井先生の教えを完全に理解できるようになります。自己流で研究するよりも、五井先生直伝の私のような先達に学んだ方がはるかに早く靈性が開発できるので、遠慮なく学んで下さい。そして、私が他界した後も、五井先生の教義と「世界平和の祈り」をしっかりと守り、後世の人々に正しく伝え、世界平和のために働いて下さい。私の願いはただそれだけです。

質疑応答1——なぜ「世界人類が平和でありますように」なのか？

【ご質問-1】〔「世界人類が平和に成りますように」と祈らないはなぜですか？〕

なぜ「世界人類が平和に成りますように」ではなく、「世界人類が平和でありますように」なのでしょう？ ご解説のほどをお願いします。

【お答え-2】〔未来の平和ではなく、今から永遠続く人類の平和を祈る祈りです〕

「世界人類が平和に成りますように」の祈り言を解析しますと、「未来において、世界人類が平和に成りますように」という意味であるのです。言いかえますと、この祈り言には、「現在はまだ平和になっていない」という意味が含まれているのです。百年後の未来ではなく、たとえ一分後に平和になろうと、十秒後に平和になろうと、それは現在のことではなく、あくまでも未来成就のことであり、未来における世界平和を祈っていることとなります。これでは悠長すぎて現実性に乏しく、弱々しく聞こえます。

それに対して、「世界人類が平和でありますように」は、「現在、世界人類が平和でありますように」と、現在の平和を祈るのですから、「世界人類が平和に成りますように」よりもずっと現実性が出てきて、力強い言葉になります。「今、世界人類は平和であります」という宣言はもっとも力強い感じがしますが、現実には世界はまだ平和にはなっていないのですから、それを言えば嘘になります。嘘の言葉であっては偽善の想念を厚くしてゆくばかりで、人間は神性を顕現するどころか、逆に偽善者になってしまいます。

ところが、「今、世界人類が平和でありますように」と祈願形で祈りますと、言葉の持つ力としてはやや弱くなりますが、嘘とはなりませんし、無理に真理を宣言することによる種々の欠陥もありません。「今、世界人類が平和でありますように」と祈るたびに、「～ように」という言葉は付いているものの、「今、世界人類が平和であります」という真理の言葉を唱えていることにもなりますから、正直な祈り言でありながら、真理の最強の力を内部に持っている祈り言であるのです。

そして、この祈り言には、現在の平和を祈るだけではなく、「永遠に世界人類が平和であり続けますように」という意味も含まれているのです。そこで、「今から永遠に、世界人類が平和でありますように」という意味であると私は説いているのです。昨日嫌な出来事があったとしても、それはもう過去のことです。その出来事は消えたのです。一分前に不幸災難があったとしても、もうそれは過去のことです。新しい今のこの瞬間には過去の不幸災難は無いのです。ただ、不幸災難が今も続いているように目に見えるだけなのです。過去の現象を見て、今も在るように思っているだけなのです。今、現れているように見えるものは、すべて過去の消えてゆく姿であるのです。

私たちは、今から世界を平和にすることができるのです。守護の神霊に向かって「今から、世界人類が平和でありますように」と祈れば、今から私たちは世界平和を創造することができるのです。同じく、私たちは幸福になるために明日まで待つ必要はありません。私たちは今から幸福になることができます。「今から私たちが幸せでありますように」と祈れば、私たちは今から幸福な生活を創造することができます。病気が治るのを待つ必要はありません。「今から私たちが健康でありますように」と祈れば、私たちは今から健康な生活を創造することができます。「私たちの運命はいつかは善くなるだろう」と、現在に落胆してはいけません。「今から私たちの運命が善くなりますように」と祈れば、私たちの運命は、将来のいつかではなく、今から善くなるのです。「今、私をお救い下さい」と祈れば、に今あなたは救われるのです。なんと力強い希望に満ちた祈り言でしょうか。

「世界人類が平和でありますように」と祈れば、あなたの運命は今から善くなるのです。世界平和実現を諦めてはいけません。世界は今から平和になってゆくのです。このような理由で、「世界人類が平和に成りますように」とは祈らずに、「世界人類が平和でありますように」と私たちは祈っているのです。「今から善くなる」と信じて「世界平和の祈り」を祈り続けてまいりましょう。

質疑応答 2——「世界平和の祈り」は死後の世界の地位を決める

【ご質問-2】 「霊界から見たこの現実世界は夢のようなものなののでしょうか？」

（夢は、守護の神霊がこの現実世界での業を肉体人間が寝ている間に幽界において浄めて下さっている時の記憶の残骸だと聞いておりますが）では、この現実世界は睡眠時に見る夢と同じ構造で出来ており、われわれが霊界にゆくと、この現実世界で起こった出来事を夢のように思い出すのでしょうか？

【お答え-2】 「現世での言動は、死後の世界でのその人の地位を決めます」

現世の出来事は、幽界や霊界に行っても、私たちは覚えております。現世で善いことをたくさんしておけば、霊界に行っても楽しい気分です。現世で悪いことをすると、それを思い出しては後悔の念に苛まれ、高い霊界へと昇れずに幽界の地獄へと転落し

てしまうのです。「人間神の子、完全円満、病気無し、悪無し、不幸無し」と宣言することを教えた宗教教団の教祖さえも、嘘をついて神を冒瀆したとしたら地獄へと転落してゆくのですから、厳しいものです。実際に完全な神の子になってもいないのに、「今の私は神である」と宣言したら、それは嘘になります。言いかえれば神を自分の低い心境にひきずり落としたことになり、それは神を汚ししたことになるのです。それは、ちょうど見栄っ張りの人が自分を少しでも偉く見せようとして、実際に通ってはいないのに、私は外国の有名大学を卒業したと嘘をつくようなものです。

「私は神である」と宣言しても、現世では嘘をつけます。しかし、あの世に行きますと、そうした嘘はすべてさらけ出されて、神界には行けずに、その人の常時想念の位置に止まり、嘘つきの人は、お互いに嘘をついている嘘つきばかりが暮らしている世界に行くのです。その世界は、みんな「私は神である」とお互いに唱えているのですが、実際には一人も神になっている者はおらず、「私は神である」という言葉に把われて、虚構の世界からそれ以上昇れないでいるのです。

それに対して、「世界平和の祈り」を祈っている私たちは、現世にいる時にすでに神界に住んでいるようなものですから、霊界に行っても、「ああ、世界平和の祈り一念に生きられて幸せだったなあ」と、深い満足感で霊界の生活を楽しく暮らすことができます。それに、五井先生があなたの本心の座に一度連れて行って下さり、「こんな素晴らしいところにあなたは住めるんですよ」と見せて下さるのです。ですから、同じ霊界で修行をするのでも、自分の行く場所が分かっているから、はるかに楽しく修行できるのです。

【参考2：守護の神霊に全託の祈りを捧げよう】

にお任せしますと、肩から力みがなくなり、全身がリラックスして、手足がポカポカと温かい状態になります。頭も冴えてきます。そして、心の中から安心感がフワッと湧いてくるものです。守護霊様に全託する練習を重ねてゆくと、そうした肉体に現れる微妙な変化をだんだんと覚えてゆくものです。

ただ、自分の守護霊の名前は誰かという質問にはお答えすることができません。また、どうしても自分の過去世を知りたいという人は、「守護霊様、み心ならば私の過去世を教えてください。でも、み心でないならば教えてくださいなくてもかまいません。守護霊様のみ心のままに為さしめたまえ」と祈ることです。「過去世は知らない方がよい」と、神様の深い智慧でお考えになって、肉体界に生まれてくる時に人間は過去世の記憶を消されているのです。守護霊が誰かなど気にせず、また過去世はどうあれ、守護霊に全託し、「世界平和の祈り」を祈り始めた今のあなたはすでに神の子であるのです。

質疑応答3——他者のために祈りを捧げる時の祈り方

【ご質問-3】〔他者の天命を祈るときの祈りはこれでよいでしょうか？〕

私は、人の天命の完うを祈るときの祈り言葉として下記を習ったのですが、これでよいでしょうか？

世界人類が平和でありますように
May peace prevail on earth
〇〇様の天命が完うされますように
守護
五井先生 ありがとうございます

【お答え-3】 [他者の天命はシンプルにこのように祈るとよい]

もちろん間違っておりませんが、日本語なら日本語で、英語なら英語で統一した方がすっきりしてよいと思います。単純明快、複雑怪奇という言葉があるように、祈り言も文体を統一して、目的以外の余計なことを言わず、複雑にしないで単純化した方がよろしいのです。それと、祈る人自身が心に納得できる言葉を使う、ということも大切です。

具体的にはこうしたらいいでしょう。

[基本形]

世界人類が平和でありますように
日本が平和でありますように
私達の天命が完うされますように
、ありがとうございます
守護、ありがとうございます
(五井先生〔空独尊法祖様〕、ありがとうございます)

〇〇さん(様)の天命が完うされますように
〇〇さん(様)の天命が完うされますように
〇〇さん(様)の天命が完うされますように
〇〇さん(様)の天命が完うされますように
〇〇さん(様)の天命が完うされますように

世界人類が平和でありますように
日本が平和でありますように
私達の天命が完うされますように
、ありがとうございます
守護、ありがとうございます
(五井先生〔空独尊法祖様〕、ありがとうございます)

[短縮形]

〇〇さん(様)の天命が完うされますように
守護霊様、お願いします。
世界人類が平和でありますように

[一番短い祈り方]

〇〇さん（様）の天命が完うされますように

[迷った霊魂を特に浄めるためには]

特に迷った霊魂のためには、「世界平和の祈り」の他に、『人間と真実の生き方』を、仏壇（仏壇でなくとも結構です）の前でお経をあげるように唱えてあげたら、霊魂は非常に浄まり、喜びます。実際にお経をあげるよりも、『人間と真実の生き方』を読んであげた方がずっと霊魂は浄まるのです。

「〇〇さん、聞いて下さい」と霊魂に呼びかけて、『人間と真実の生き方』を読んであげるので。これを続けますと、大きな功德を知らず知らずに積むことになり、救われた霊魂が、今度はあなたの守護霊となって、霊界からあなたを力強く助けてくれるようになるのです。

【ご質問-4】 [相手の攻撃してくる想念を浄化するには？]

相手の攻撃してくる想念をどのように浄化するのでしょうか？ ご教授下されば有り難いのですが。

【お答え-4】 [何もしようとせずに空の境地にいればよい]

これは、頭で知識として知っていても、そう簡単に出来ることではありませんから、その方法については書かなかったのです。個人的な護りならば、具体的にはこう祈るだけで効果があります。

「、守りたまえ」

この祈りをするだけで、あらゆる攻撃から自分の身を守ることができます。但し、真実に効果を現すには、繰り返し祈ることが必要です。言いかえれば、何も考えず、空の境地になることです。それを個人の救われからもっと大乘的にすれば「世界平和の祈り」ということになります。

「世界人類が平和でありますように」

現在では、この祈りの方を優先的に教えております。現代は、個人だけを護る時代ではなく、人類を護る時代であるからです。祈りの原理としてはどちらも全く同じで、守護霊に全託して空の境地になることです。